

文部科学省認定社会通信教育  
「教育訓練給付制度」厚生労働大臣指定

# 衛生管理者講座



## 所管省のチェックを受けています

この講座は、免許試験制度を所管する厚生労働省等のテキストに基づいて改訂しているため、安心して受講いただけます。

## 実務経験の証明が必要です

免許試験の受験資格としての「労働衛生に関する実務経験」とは、具体的には、次のようなものです。

- 健康診断実施に必要な事項又は結果の処理の業務
- 作業環境の測定等作業環境の衛生上の調査の業務
- 作業条件、施設等の衛生上の改善の業務
- 労働衛生保護具、救急用具等の点検及び整備の業務
- 衛生教育の企画、実施等に関する業務
- 労働衛生統計の作成に関する業務
- 医療機関、保健所における看護師の業務、その他などとなっています。

実務経験の事業者証明書用紙は、免許試験受験申請書に綴じ込まれています。実務経験の期間は、2以上の事業場における通算期間でよいとされています。

## ■ 学習のカリキュラム

科目	学習内容	第1種	第2種
労働衛生	労働衛生全般 (有害業務関係を含む)	○	—
	労働衛生一般 (有害業務関係を除く)	—	○
	有害業務に係る労働衛生概論	—	○
労働生理	血液およびリンパ、循環、ホルモン、呼吸作用、物質代謝、感覚器、疲労など	○	○
救急処置	心肺蘇生法、創傷、出血と止血、骨折、火傷、窒息、ショック、熱射病など	○	○
労働基準法	労働契約、賃金、労働時間、休憩、休日、年次有給休暇、年少者、就業規則など	○	○
労働安全衛生法 I	安全衛生管理体制、有害物規制、安全衛生教育、健康診断、作業環境測定、衛生基準など	○	○
労働安全衛生法 II	有機溶剤中毒・鉛中毒・特定化学物質・高気圧作業等の諸規則、じん肺法など	○	—

※第1種・第2種のコース選択は、各自が、申込み時に行います。

※第2種コースの場合、「労働衛生」の一部と「労働安全衛生法II」は学習の範囲から除かれます。

### ■教材の構成

- ①テキスト (B5判：6冊)
- ②学習マニュアル (B5判)
- ③添削課題書 (B5判)
- ④レポート用紙 (質問票付き)
- ⑤会報 (9ヵ月間送付)

■開講時期 随時開講しています。

■学習期間 6ヵ月 (在籍期間12ヵ月)

●受講料 31,000円 (税含む)

# 衛生管理者受験CDコース(総合コース)

総合コース=衛生管理者講座+受験CD

※教育訓練給付金制度対象外コースです。



## テキストの内容理解がより深まる受験CD

「免許試験は、はじめてなのでなかなか問題点がつかみ切れない」「法律の勉強は、馴染みがないので苦手だ」

そんな方に作られたのが衛生管理者受験CDコースです。

### ■ 受験CDの内容

科目	収録時間	枚数	
		第1種	第2種
労働衛生第一種	150分	2枚	
労働衛生第二種	60分		1枚
労働生理	80分	2枚	2枚
救急処置	45分	2枚	1枚
労働基準法	110分	2枚	2枚
労働安全衛生法 I	115分	2枚	2枚
労働安全衛生法 II	150分	2枚	
合計	第1種CD	11時間	全11枚
	第2種CD	7時間	全8枚

## 受験CD

当センターの専任講師が、テキストに沿って、解説をしています。

### ■教材の構成

- ①テキスト (B5判・6冊)
- ②学習マニュアル (B5判)
- ③添削課題書 (B5判)
- ④受験CD  
(第一種11枚・第二種8枚)
- ⑤レポート用紙 (質問票付き)
- ⑥会報 (9ヵ月間送付)

■開講時期 随時開講しています。

■学習期間 6ヵ月 (在籍期間12ヵ月)

●受講料 第一種 **52,000円** (税込)  
第二種 **45,000円** (税込)

### 衛生管理者講座 合格体験記

### 重要ポイントのノート作りと記憶の定着

Sさん (福島)

学習の方法についてですが、当講座の学習スケジュールの順序に従い、まず労働衛生のテキストを読み、添削レポートを提出しました。3月のその段階で、当センターの受験講習会に参加し、各分野の重要ポイントを聞きました。

その後は、各重要ポイントを中心に内容を理解するようにし、又、ノートに箇条書きにして、記憶するように務めました。

毎日、会社から遅く帰宅してからの学習であったため、1時間半ぐらいしか学習できず、疲れと眠気もあって大変でしたが、とにかく毎日、今日はこのページまでやる

と決めて学習するようにしました。休日には今まで学習した分についてテキストとノートを読み返し、各章ごとに付記してある練習問題も見直しました。又、添削課題書にも取り組み、提出するようになりました。

受験までの1ヵ月間については、必勝問題集に集中して取り組み、解けない問題の部分については解説を読んでノートに追記して、覚えるようにしました。

補足しておきたいこととして、学習期間中に送られてくる「道しるべ」に記載されている公表問題は、ぜひやっておいた方が良いと思います。類似問題が実際の試験でも出題されていました。